

## “次世代を活かす企業へ；働き続けたいくなる職場づくりStepupプログラム2024” 実践講座DAY4

11月12日(火)、第4回目となる「次世代を活かす企業へ；働き続けたいくなる職場づくりStepupプログラム2024」実践講座第DAY4を開催しました。

今回の講座には、9社の企業の代表者や人事担当者、21名が参加し、【目標設定・計画策定】をテーマに職場づくりについて学びました。

### 【講義】

株式会社Pallet 常務取締役 上野英律氏が講師を務めた今回の講座では、“講座の振り返りと自社課題の再整理”“中間共有会”“計画の策定”を行いました。参加者たちは6グループに分かれてグループワークや意見交換を行い、これまでの学びをもとに自社の課題に取り組んだ成果を共有しました。

第一部ではまず、本プログラムの講義で度々取り入れてきた「チェックイン」について、その効果と目的について再確認し、心理的安全性についての理解を深めました。その後、参加者たちは「全員が真剣に取り組む」ことを体験するために、グループワークとして「あっち向いてホイ」を行いました。会場は大いに盛り上がり、童心に返ったような参加者たちの笑顔や笑い声が溢れていました。この体験を通じて、参加者たちは「会社全員にとって理想的な状態を思い浮かべながら目標設定を策定する」ことに対する具体的なイメージを深めることができました。



上野氏による講義



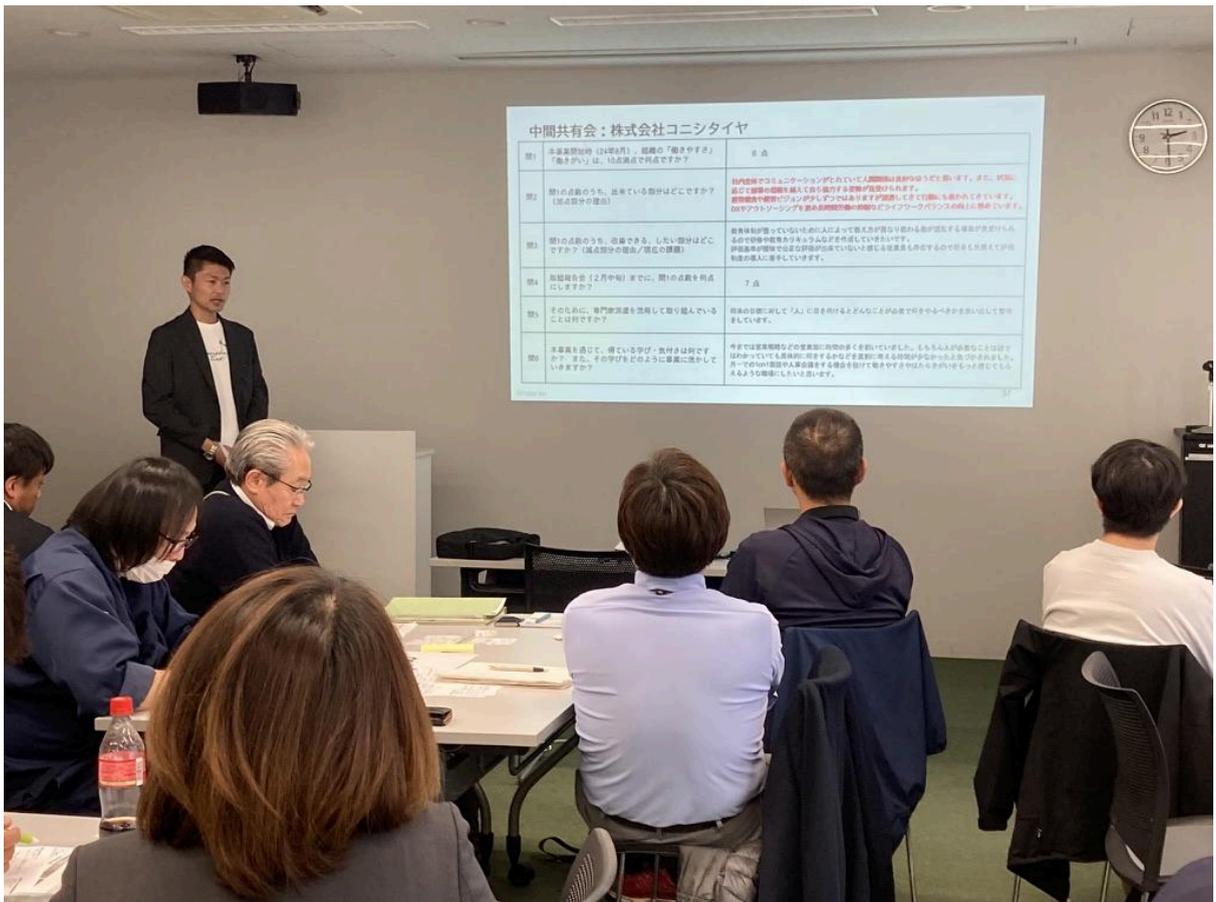


グループワーク「あっち向いてホイ」に取り組む参加者

第二部では、参加者たちが事前に提出した課題フォーマットをもとに「中間共有会」を行いました。自社の取り組みを率直に語り合いながら、他社の取り組みにも真剣に耳を傾ける参加者たちの姿が見られました。また、発表後にはグループ内で感想や気づきをシェアし、更に学びを深めることができました。



中間共有会：山岡工業株式会社		
問1	本事業開始時（24年1月）、組織の「働きやすさ」「働きがい」は、10点満点で何点ですか？	9点
問2	問1の点数のうち、最も低い部分はどこですか？（採点部分の理由）	協会の事業内容や事業の方向性は非常に良いと評価している。従業員間の協働意識については評価が低くあるが、今後の改善には比較的良いように感じられる。
問3	問1の点数のうち、改善できる、したい部分はどこですか？（採点部分の理由/改善の課題）	協会の内的コミュニケーションや組織・技術の高さ、社内の情報の流通と伝達をより円滑にする必要がある。サーベイを通じてできることから改善していきたい。
問4	協会の報告書（2月中旬）までに、問1の点数を何点にしますか？	9点
問5	それために、専門家を活用して取り組んでいることは何ですか？	協会の業務に特化するともに協会の改善・対応の改善、従業員への意識向上を図ることで協会の改善を実現する。
問6	本事業を通じて、得ている学び/気づきはありますか？また、その学びをどのように事業に活かしていますか？	協会の改善で経営陣が率先して取り組むことが、従業員も協会の改善を率先して取り組むという必要性を感じた。また、協会の改善は協会の改善だけでなく、協会の改善を通じて協会の改善を実現する必要があると感じた。また、協会の改善を通じて協会の改善を実現する必要があると感じた。



中間共有会：株式会社コニシタイヤ		
問1	本事業開始時（24年1月）、組織の「働きやすさ」「働きがい」は、10点満点で何点ですか？	8点
問2	問1の点数のうち、最も低い部分はどこですか？（採点部分の理由）	協会の内的コミュニケーションや組織・技術の高さ、社内の情報の流通と伝達をより円滑にする必要がある。サーベイを通じてできることから改善していきたい。
問3	問1の点数のうち、改善できる、したい部分はどこですか？（採点部分の理由/改善の課題）	協会の内的コミュニケーションや組織・技術の高さ、社内の情報の流通と伝達をより円滑にする必要がある。サーベイを通じてできることから改善していきたい。
問4	協会の報告書（2月中旬）までに、問1の点数を何点にしますか？	7点
問5	それために、専門家を活用して取り組んでいることは何ですか？	協会の業務に特化するとともに協会の改善・対応の改善、従業員への意識向上を図ることで協会の改善を実現する。
問6	本事業を通じて、得ている学び/気づきはありますか？また、その学びをどのように事業に活かしていますか？	協会の改善で経営陣が率先して取り組むことが、従業員も協会の改善を率先して取り組むという必要性を感じた。また、協会の改善は協会の改善だけでなく、協会の改善を通じて協会の改善を実現する必要があると感じた。また、協会の改善を通じて協会の改善を実現する必要があると感じた。



中間共有会の様子

中間共有会：六郷小型貨物自動車運送株式会社	
問1	<p>本事業開始時（24年8月）、総務の「働きやすさ」「働きがい」は、10点満点で何点ですか？</p> <p>4点</p>
問2	<p>問1の点数のうち、出来ている部分はどこですか？（採点部分の理由）</p> <p>・ドライバーはお車中内部の方とのコミュニケーションが図れる環境にある ・自分の仕事も好きでいる従業員が多い ・自分たちの仕事が生かされていると感じている従業員が多い</p>
問3	<p>問1の点数のうち、改善できる、したい部分はどこですか？（減点部分の理由/懸念の課題）</p> <p>・有給不取得、休日出勤を減らしていく→<b>働き方コミュニケーション推進</b> ・経営方針/理念を共有させる→経営方針の共有と上司とのコミュニケーションの場 ・すでに解決できそうな事は上がった意見を公表して皆で一丸になる</p>
問4	<p>取締役会（2月中旬）までに、問1の点数を何点にしますか？</p> <p>6点</p>
問5	<p>そのために、専門知識を活用して取り組んでいることは何ですか？</p> <p>・10月下旬にサービスマスター→経営共有会（上司・従業員） ・前は、オンラインコースで、質問をある他社から頂く ・次のオンラインサービスマスター向け、問いを共有して ・一網に詳細を頂く時期をみつける（総務、ドライバーから頂くなど） ・得ている学びを共有 ・従業員の意見を聞いて上げる手段を学び、実践する期間や機会を学ぶことが出来た ・日々の「ありがとう」だけではなく、特別感を促す 個別のメッセージ ・管理職間士のコミュニケーションについて取組む必要があると感じた ・どのように事業に活かしていくか ・特にオンラインコースを重視（セクハラにも対応し注意） ・を通じて管理職間士のコミュニケーションを促る等の実施（月1回） ・品質管理（Quality Control）を向上させるための改善活動</p>



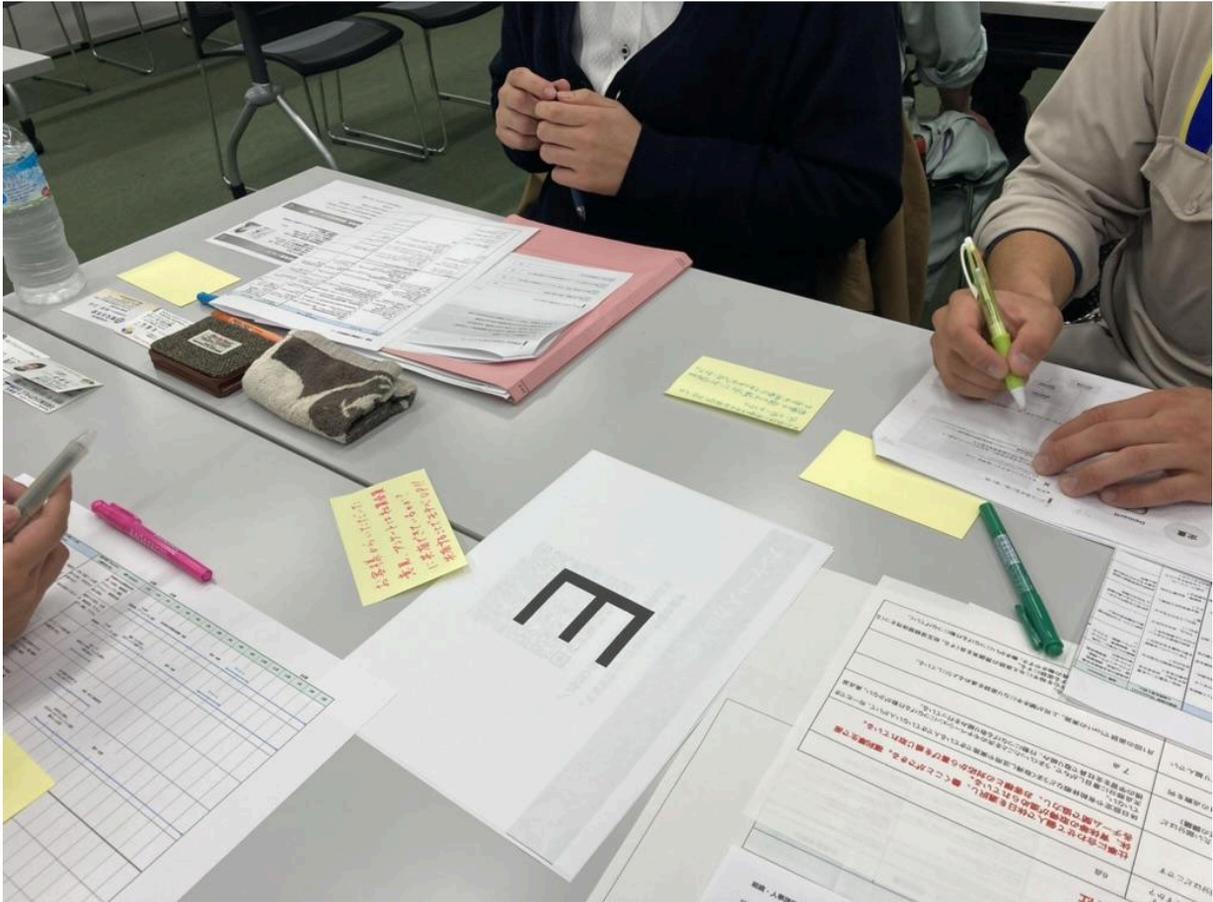


グループ内で感想共有する参加者

第三部では、効果的なゴール設定について学んだ後、「目標設定・計画策定」を行いました。先にゴールを決めた後にプロセスを決める「バックキャストイング」という手法や、ゴール設定の際に指標となる「定量・定性」という概念、ゴール設定の具体例、更に「GROWモデル」という枠組みについても理解したのち、3年後の自社のなりたい姿について考えるセルフワークに取り組みました。

最後にグループワークを行い、各自が記入した内容を共有しました。その際、実践講座DAY2でも登場した「タニモク」という手法を用い、参加者同士が発表者に対してさらにブラッシュアップした目標を伝えるというワークにも取り組みました。







グループワークの様子

実践講座最終回では、講義、中間共有会、ゲーミフィケーションを取り入れたグループワークなど、豊富な内容が展開されました。上野講師の参加者たちを惹きつける説得力ある語りや、実感を伴う深い学びを引き出す数々の工夫により、参加者たちは職場づくりについての理解を更に深めることができました。これまでの自社の取り組みを振り返りながら他社の事例に学び、互いに切磋琢磨したことで、参加者たちはこれからも継続していく自社の取り組みに向けて前向きなエネルギーを得ると同時に、全4回の実践講座を無事に修了した達成感で満ち溢れていました。

参加者からは、今回の講座を通して、次の感想をいただきました。

=====

- ・他社さんとディスカッションをして有益な考え方を得ることができた。
- ・講義の内容は社内でのフィロソフィーと良く似ている部分も多かった。今現在できていることでもできていないこともあるが、講義に参加したことで新しい発見があった。より考えを深めて令和の時代でも生き抜いていける企業にしていきたい。
- ・他社の方にアドバイスをいただき気付きになりました。
- ・目標を高く設定してみようと思えた。
- ・今後、計画を策定するにあたり、参考になる内容でした。ポジティブな気持ちになれました。
- ・現在取り組んでいることの他社での取り組みはとても興味深かった。
- ・良いディスカッションができた。
- ・ゴール設定の方法、設定する上で大切なポイントを知ることが出来た。
- ・チェックインの大切さを再認識できた。
- ・グループワークがとても充実していた。タニモクを体験出来てワクワクした。これから実践していきたい。
- ・チェックインとgoodの引き出し方は早速行いたいです。

- ・どこを目標にするのか、目標を職員に伝える際にどう伝えるのか大事だと感じた。
- ・上野先生のテンポ良い指導とタイミングの良いワークのおかげで理解度がすごく進みました。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝

**【講師】**

株式会社Pallet 常務取締役 上野英律氏

**【日時】**

2024年11月12日(火)13:30～16:30

**【場所】**

にぎわい交流館AU 研修室1